

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	情報コミュニケーション施策推進事業			420386	担当課	障害者福祉課		
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	小野木 正章			
	歳出費目	款) 民生費	項) 社会福祉費	目) 社会福祉援護費	決算附属資料	124	頁		
	施策の大綱	障害のある人の福祉の充実			関連計画等	福知山市障害者計画			
	施策名	理解を深める啓発を充実させる			根拠法令等	障害者基本法、障害者差別解消法			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	障害のある人がその障害特性に応じたコミュニケーション手段を利用しやすい環境を構築し、障害のある人もない人も分け隔てられることなく理解しあい、お互いに一人ひとりの尊厳を大切に安心して暮らすことができる共生社会を実現するため、手話言語・情報コミュニケーション促進条例を施行する。							
	対象者	市民	対象者数	80,000	一人当たりコスト	0.02			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>							
	事業概要	「福知山市手話言語及び障害のある人の多様なコミュニケーション促進条例」を制定するとともに、条例の啓発を行う。							
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		報酬		自立支援協議会委員報酬			176		
報償費		条例制定記念講演会講師謝礼等			54				
関連事業									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		0	294	0			
		補正予算等・・・②		0	△ 24	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		0	270	0			
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		0	0	0			
		その他特財		0	0	0			
		特定財源名称(H29実績)					頁		
							頁		
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0/0	0.15/0	0/0	/			
	概算人件費・・・④		0	1,200	0				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			0	1,470	0				
執行状況	執行額・・・⑥		0	230					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		0.0%	85.2%					
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		条例の制定・施行	-	-	制定/制定				
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		条例制定記念講演会	回	-	1/1				
		単位あたりコスト		-	230.0				
				/	/	/			
	単位あたりコスト								

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	国等の法整備の動向も踏まえ、市として、条例を制定し、取り組んでいくべき事項である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	具体的な事業を実施していないため、効率性は評価できない。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	平成29年12月25日に本条例を制定し、平成30年4月1日に施行した。	
	今後の課題及び方向性	条例の制定に伴い、本事業としては平成29年度をもって終了する。今後は手話言語・情報コミュニケーション推進事業として、条例の基本理念に則り、手話言語への理解の普及や障害の特性に応じた多様なコミュニケーション手段の利用の促進など、条例の具現化に向けた事業を展開する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見 ・条例を制定することが目的である事業であるから、事業目的に条例制定を明確にすべき。 ・H30は別シートとすべき ・条例制定は担当課の仰るとおりスタート地点 ・市民への啓発、何らかのアウトカムの設定、その達成手法の具体化が注目される		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		